

🐾 勉強会

町内では、大小あわせて4回の勉強会で講師をしました。

特に昨年は、全国でクマの出没が話題になっていたため、山の近くで働く森林組合さんや、森のようちえんさんから、クマについての勉強会の依頼があり、

クマの生態や出会わないための工夫、出会ってしまったときの対応についてお話ししました。

参加した方からは、「とても勉強になった」「山での活動の大切さを改めて感じた」といった感想をいただきました。

川角地区で行われたサル追い払い研修会では、鳥獣被害対策の基本について、30分ほどお話ししました。参加した方からは、「参加してよかった」「追い払いをやってみたい」といった声があり、行動につながるきっかけになりました。

3月22日に行われた地域おこし協力隊の活動報告会(オープナー)では、電気柵の仕組みについての勉強会を行いました。実際の電気柵を使いながら、電気の流れ方や、しっかり効果を出すためのポイントを説明しました。

最後には、希望した方に電気柵に触れてもらい、体験しながら理解を深めてもらいました。説明の中では多くの質問があり、お子さんも参加してくれました。

「へー」「そうなんだ」といった声も多く、楽しみながら学んでもらえた様子でした。

～📷フォトギャラリー～

森林組合にて



川角地区サル追い払い研修会にて



森のようちえんにて



協力隊オープナーにて



🐾 町内でこんな鳥獣被害対策を取り組みました！

こんにちは！地域おこし協力隊の小川晴那(おがわはるな)です。

東栄町の地域おこし協力隊になってから、あっという間に1年が経とうとしています。

令和7年6月の「けもの通信」でお伝えした、今年度の取組目標は次の3つでした。

- ① 町の鳥獣の状況把握
- ② 侵入防止柵の改善
- ③ 地域で取り組むための勉強会の開催(3回)

今回は、令和7年度の取組についてご報告します。

ありがたいことに「けもの通信を手元に残したいんだけど..。」と言ってくれる方が出てきました！



← 『けもの通信』は町のホームページに掲載しております。

また、経済課にも置いておりますので、必要な時はぜひお越し下さい。

🐾 【NEWS!】公式LINEアカウントを作りました！

気軽に鳥獣について相談してもらえるように、LINEのアカウントを作りました。



スマートフォンのカメラをかざすと登録できます。

どんなことを聞いたらいいの？

- この糞、なんの糞？
 - 柵をしてるのに、動物に入られてしまう。どうしたらいいの？
 - 電気柵の立て方が分からない。
 - 罠のかけ方を教えてほしい。
 - ホームセンターでこんな資材を見つけたけど、効くの？
- などなど、鳥獣の生態や鳥獣被害対策に関する事であれば、なんでもOKです。



🐾 今年度取り組みたい事

今年度は、昨年度の取組に加えて、次のことに取り組んでいきます。

- サルの群れの行動を把握すること(目標:2群れ)
 - 地域で対策に取り組むための話し合いの開催(目標:2地区)
- これらの取組を進めていきます。

🐾 侵入防止柵の改善

「けもの通信」や広報を見た方から、「柵を張っているのに動物が入ってしまうので、見に来てほしい」と相談がありました。令和7年度は、6件対応しました。柵のどこから入っているのか、何が問題なのか分からないと、対策はなかなか進みません。そこでまず、野外用のカメラを設置し、動物の侵入口や入り方を確認しました。そのうえで、動物の行動に合わせた柵の改善をアドバイスしたり、設置のお手伝いをしました。これまでは、「新しく作り直して、100%防げる柵にしなければ」と考えていました。しかし、東栄町でこれまで使われてきた柵を見ながら、「80%でもいいから、今あるものを最大限活かすことが大切だ」と考えるようになりました。できるところから改善し、カメラで様子を見ながら、動物の動きに合わせてさらに工夫していく。令和8年度も、このような方法で取り組んでいきたいと考えています。

～📷フォトギャラリー～

サルの被害が出ている畑。元タシカ用のワイヤーメッシュ柵を設置していたため、ワイヤーメッシュ柵の上部に昔使っていた電気柵を設置しました。「去年は玉ねぎが食べられていたのに、今年は無事だよ」とうれしい報告が！



野外用カメラで撮影されたネットの柵に侵入するサル。上手にネットの裾を持ち上げてぐっていました。今年電気柵を設置したいとのこと。



小学校3年生が育てている大豆が、昨年度、動物に食べられる被害を受けたそう。背の高いネットを設置したものの、被害は続いていました。状況からウサギによる被害と判断し、ネットの下部に目の細かいネットを追加し、裾を短い間隔でペグ固定しました。その結果、今年度は被害は発生しなかったそうです！



サルがぐぐってる！

🐾 月地区鳥獣被害対策の取り組み

愛知県の取組として、月地区で地域ぐるみの鳥獣被害対策が始まりました。

この取組では、地域の人たちが地域の力で動物の対策ができるようになることを目指しています。令和7年から8年までの2年間、県のサポートを受けながら、講習会の開催や話し合いの場づくりを行います。令和7年度は、3回の勉強会を実施しました。1回目は鳥獣被害対策の基礎、2回目はサルに強い柵の作り方、3回目は花火を使ったサルの追い払いについて学びました。また、被害の状況を知るために、全戸に協力していただきアンケートを行いました。その結果、サルの出やすい時期や、食べられている作物、被害が多い場所、加害している動物を把握することができました。さらに、10月から11月の1か月間、サルが出てきた場所や時間を記録する「サル出没カレンダー」づくりにも取り組んでもらいました。期間は1か月と短いですが、サルが目撃されやすい場所が見えてきました。

サルが出やすい場所にエサとなるものがある場合は、それを片付けることで被害を減らすことができます。また、そうした場所は、罠を設置するポイントとして活用することもできます。

～📷フォトギャラリー～

【第1回】
月地区のイベントの冒頭で鳥獣被害対策の基礎について講義がありました。



【第3回】
座学で効果的な追い払い方法を学んだ後、実際に追い払い用花火を使いながら安全な使用方法を学びました。



【第2回】
座学で効果的な柵の設置方法を学んだ後、愛知県が試験的に設置した全獣種対応の柵を見学しました。

